



クラブ会長
幹事殿控

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1997年1月20日 No.8

ロータリー理解推進月間 2月



国際ロータリー第2760地区 ガバナー 松本 宏

〒475 愛知県半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所内 TEL0569-26-3800 FAX0569-26-3840

世界理解月間によせて

1996～'97年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松 本 宏

「世界理解月間」は、国際奉仕ならびに、その目標すなわち世界理解、親善、平和の推進の重要性を強調して、2月に特別月間と定められたのであります。

1983年以来、ロータリーはその創立記念日である2月23日を「世界理解と平和の日」と定めて記念事業を行っています。

ロータリーの行うすべての活動やプログラムは、根本的には世界理解と平和の推進を目指すものであります。しかし、28,000以上のクラブと120万を超える会員が、この理想を実践する方法は、実にさまざまです。

ロータリーのどのようなプログラムや活動が

最も世界理解と平和に役立つかを考えたいと思います。

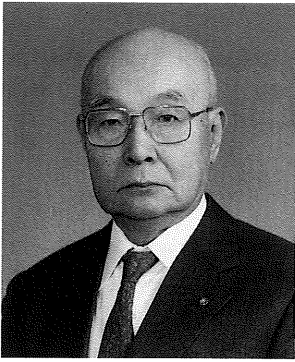
私たちロータリアンは、「住み良い社会、平和な世界」を願って日々ロータリー活動の推進にあたっています。

地球上の半分が飢え、半分以上が過剰である世界や、半分以上が読み書きできず、半分以上が教育を受けられる世界は、決して平和な世界とは云えません。

この月間を通して、各クラブにおかれましては、どのようなプログラムで、どのような活動をすべきかを、真剣にお考えいただきたく存じます。

各分区I.M.開催の日程

分 区 名	開催日 H9.	ホストクラブ名・開催場所	リーダー分区代理
尾 張 第 一	2.16(日)	知多RC 知多市勤労文化会館	森 岡 秀 夫
名 古 屋 第 一	2.20(木)	名古屋東南RC ホテルナゴヤキャッスル	各 務 芳 樹
西 三 河 第 一	2.22(土)	豊田東RC 名鉄トヨタホテル	森 順 次
東 三 河	2.23(日)	豊橋RC ホリディ・イン・クラウンプラザ豊橋	石 川 孝 司
西 尾 張	3.2(日)	一宮RC 一宮スポーツ文化センター	酒 井 孝
名 古 屋 第 二	3.10(月)	名古屋東RC ホテルナゴヤキャッスル	古 川 善次郎
東 尾 張	3.16(日)	小牧RC 名鉄犬山ホテル	伴 野 富 三
西 三 河 第 二	3.22(土)	一色RC グリーンホテル三ヶ根	小 出 和 巳



2月23日は 世界理解と平和の日

地区国際奉仕委員会

委員長 吉村 卯一郎

ポール・ハリスが1905年2月23日に他の3人と一緒に第1回の会合を開いたのを記念して、RI理事会では毎年2月を「世界理解月間」に指定しております。

そこで各クラブは同期間中、世界平和に不可欠なものとして、理解と親善を特に強調するクラブプログラムと活動を実施し、国際奉仕に焦点を合わせて世界社会奉仕(W・C・S)を中心として青少年交換、ロータリー財団等のプログラムを活用して、国際理解と友好親善の増進に役立つ活動を行うように奨励されております。

世界の人々は、各国の人々とお互いに理解と交流を深めたいと思いつつも、国、人種、言語、宗教、習慣等の違いにより、意の如くならないのが現状であります。

ところで第2770地区の田中作次バスト・ガバナーはかつて次のようなことを言っておられました。すなわちロータリアン1人ひとりが「世界理解」のために、あまり大きなことはしなくても、小さなことの積み重ねが大きな成果を生むのだ、そういう確信をもってこの「世界理解月間」を楽しみましょうと。

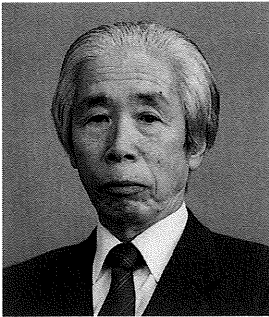
さてW・C・Sの目的は世界の平和、人類の幸福であります。地球上の人口は56億人でこの中で1/3が子供です。そして56億人のうち30%位は食べ物に満足しているが、30%位は空腹を抱え、40%位は飢餓にあえいでいます。結局20億人以上の人が飢餓や病気や非識字に苦しんでおり、一方世界の富の80%を20%の人が独占しているのであります。そこにW・C・Sの活動の意義があるのではないかと思います。そして社会奉仕部門を国際奉仕部門に重ねたのがW・C・Sであります。

当地区のW・C・S活動は世界有数の活発な地区として認められております。そしてドネーションの総金額および対象プロジェクト数は国内地区のトップクラスであり、全世界地区でも屈指の“W・C・S活動地区”となっております。毎年フィリピン、タイ両国への訪問旅行を行って、援助資金の交付をし、友好と親善と更なる理解を深め合う努力をしております。本年度も'97年2月に両国を訪問いたしますので、多数のご参加と積極的なご支援をお願いする次第であります。

又、当地区の青少年交換委員会では毎年交換学生の派遣、受入れを行っておりますが、本年度より派遣国の範囲を広げて従来のアメリカ、カナダ、オーストラリアの三国の外に、ブラジル、フィンランドの二国を加えて5ヶ国といたしました。理解と交流、そして友情を深める先兵として、各委員の方々が交換学生の選考と決定に努力を重ねて、優秀な学生を1年間海外へ派遣しております。又、相手国からも学生を受入れて、地区の家庭でホームステイをして理解と親善を深めております。

前述の通り2月23日は最初のロータリークラブの会合が開かれた創立記念日であり、“世界理解と平和の日”に指定されております。ロータリアンはこの“世界理解月間”に思いを新たにして、国際奉仕の目標とする活動を積極的に行っていただきたいと思ひます。それは他国の人々、その文化、習慣、業績、抱負などの諸問題を知ることであり、また旅行や国際大会への出席による個人交流であり、読書や文通であり、更には他国の人々に役立つクラブの活動や、プロジェクトすべてに協力することであります。

世界理解月間によせて



地区青少年交換(小)
委員会
委員長
林 光 雄

青少年交換について、当地区では現在アメリカ、カナダ、オーストラリアへ、1997年度よりブラジルとフィンランドを加えて5カ国へ高校生を派遣する予定であります。

目的は『国際理解と国際親善の推進』であります。

戦後わが国は、経済発展のみに力をそそぎ、人間教育や道德教育がおろそかになり、ゆとりのない生活になっております。子供達は勉強、勉強と追いまわられて、子供らしい遊びも知らず、家族揃って食事をする事も少なくなっています。このような環境のもとで育った彼らが、国際ロータリーの提唱する『青少年交換プログラム』に参加して、一年の留学生生活を終え、ひとまわり人間的に大きく成長して帰国してきた姿に接した時、この青少年交換の意義を改めて認識いたします。

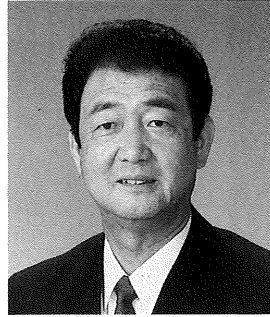
交換留学生として、外国の家庭にホストされ、家族の一員となればばらくは、誰でも戸惑いがあるようですが、すぐその国の生活になじみ、自国との家庭生活のちがいを知ったり、地域の見知らぬ人々とも気軽に挨拶を交わすようになると伝え聞いております。

こうして毎年世界で実施されている青少年交換プログラムに、約8,000名の高校生が参加しておりますが、現地でのありのままの生活体験をした彼等は、きっと将来世界平和のために大きな原動力となってくれるでしょう。

しかしながら、当2760地区の青少年交換プログラムには、女子高生の応募が圧倒的に多く、男子は一流大学に入らんがためにか応募が少ないのが残念であります。

国際理解月間に当り、より多くの高校生がこの『青少年プログラム』に参加され、『国際理解と国際親善の推進』にご協力されん事を切望いたします。

WCS活動を通じて



地区世界社会奉仕(小)
委員会
委員長
鶴 田 欣 也

当地区では、ご承知のように過去10年以上にわたり、フィリピン・タイの両国を中心に多くのプロジェクトに対し援助を行ってきました。

昨年、援助したプロジェクトの数は、110以上に及びます。その内容は、発展途上国が抱える生活や社会面の深刻な問題を少しでも改善しようというものです。例を挙げますと、「井戸掘削」、「ミシンによる職業訓練」、「公衆トイレの設置」、「就学率普及」などニーズの高いものばかりであります。

各ロータリークラブから寄せられた寄付金はプロジェクトの実態を視察することを兼ねて現地を訪問し、先方のロータリークラブに寄贈しております。現地でのドネーションは、先方のロータリアンの暖かいそして友情溢れる歓迎の中で行われます。

また、それぞれのプロジェクトの実態を見るため現地のロータリアンに案内していただき、諸施設を訪問しております。私達の寄贈したプロジェクトが現地の日々の生活に生かされ、心から喜んでくれている姿を見て、同行のメンバー全員胸に熱いものを感じたこともありました。ビジネスや観光旅行で海外の人達と接する機会も多くなっておりますが、こうした体験は、ビジネスや観光では味わえないもので、むしろ学ぶことも多いものと感じました。

今年度も2月下旬に視察旅行を計画しております。国際的にも評価されている当地区の活動をご自身で体験していただくために、是非共、多くのロータリアンのご参加を希望します。



「国際理解」は異文化社会と その人々を理解することから始まる

地区国際友好(小)委員会

委員長 中野博三

「国際理解」と言う言葉は、1980年頃「国際化」がいわれだしてから、熟語として使用されたような気がする。この「国際化」と言う言葉には、なにか日本独特な響きがあり、とかく美化されがちであった。「世界は一家、人類はみな兄弟、みんな仲よくしよう」と言うテレビコマーシャルが、流行したのもこの頃である。だが「私たちにあって国際化とは」となると、これほど各人各様で、はっきりしたコンセンサスもなくさっぱり訳のわからないものもなかった。私の周りをみても、コマーシャル式の国際化は、かなり広がっているように見えた。外国人と云えば、何となくお客さま扱いでチャホヤする傾向があり、留学生に対しても御多分にもれなかった。よく考えてみれば、日本人同士だってお互いに好き嫌いがあって、みんな仲よくとはなかなかいかない。まして、異文化、異民族の外国人と、そう簡単に仲よくなど、なれるものだろうかと疑問に思った。

この「国際化」の重要な要素として、京都大学の矢野教授は「今の世界を意識する同時代感覚、世界を中心と辺境とが、複雑に交錯する空間として捉える地球感覚、そしてさまざまな民族文化の尊厳を配慮する異文化理解」を挙げている。特に異文化の問題は文化的背景を異にする諸個人の、現実の接触の中におこる問題で、接触が深まれば深まるほど、相手への知識がふえるために、むしろ、相互の違和感が累積していく機会も、ふえることになる。そして「異文化理解」の前提には、個人の好き嫌いと言った感覚とかかわる経験が存在するから、一層に厄介である。

わが国は、周りを海で囲まれた島国であり、ほぼ均質的な単一民族的な国家であると言う、地政学的な影響を受けているのかも知れないがどうも日本人は、異文化というものを受動的に理解し、摂取することには長けているが、自国又は自国の文化を他者に理解させるということには、はなはだ拙劣、不慣れであり、独りよがりなところがある。これは積極的に相手に、自分をよく説得し、理解させると云った能動的な意味での、「異文化理解」が不足していることである。換言するならば、日本人には国民性として依然として、鎖国的精神構造が残っており「国際化」するためには、それを打破し、外向きの自己紹介の努力と異文化理解の努力が不可欠である。例えば、日本が国際文化交流に当てる予算は、経済大国といわれながらも、欧米諸国と比べると、きわめて貧弱な水準にある。もっと自国の情報伝達のための機関を、全世界の主要都市に設置しなければならない。

終りに、「国際理解（世界理解）」は異文化社会と、その人々を理解することから始まる。その始まりのために、「百聞は一見にしかず」も、ひとつの方法であり、効果もあるが、「一事が万事」と云ったステレオタイプ化した見方に陥る危険性が待ち受けている。画一化して見ることは、安易で分りやすい方法であり、日常的にも行いがちな方法ではあるが、結果として無反省な賞賛か、傲慢な蔑視につながる。ステレオタイプとは異なった視点から、国々や人々を描きだす方法を見いだすことが、「国際理解」を進める唯一の方法ではないだろうか。

1996～'97年度

国際ロータリーゾーン研究会報告

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松本 宏



震災から見事復興した神戸ポートアイランドの神戸ポートピアホテルに、ゾーン1、2、3、4(a)、のガバナー、パストガバナー、ガバナーノミニーが集合して1996-97年度国際ロータリー研究会が11月29日より12月1日まで開催されました。

1) 11月29日(金) 18:00よりルイス・ジアIRI会長ご夫妻歓迎晩餐会が、アルゼンチン、日本国歌斉唱に始まり、ジアIRI会長挨拶、ミニ・コンサートを交えて終始、親睦を深める宴が、なごやかな雰囲気の中に繰り広げられました。

2) 11月30日(土) ロータリー研究会第一日目。

第1セッション。「RI現況報告」が今井RI理事より、「アジア地域大会報告及びポール・ハリス没後50年記念事業委員会報告」が、千宗室元RI理事よりありました。

第2セッション。ルイス・ジアIRI会長の「基調講演」その要旨は次の通りです。

「ロータリーの奉仕活動が、ひときわ盛んな日本に来ることができ大変嬉しく思います。日本のロータリアンの活動は、ロータリー世界中に知れ渡り、感謝されています。全ロータリアンに成り代わり皆様の努力をたたえ、皆様に感謝申し上げます。日本はアジアにおけるロータリーの発展に大きな役割を果たし、さらに日本

のロータリアンは、皆様の指導力、結束、器量、誠実さによって、世界各地のロータリーの働きに、著しい貢献をしています。日本のロータリアンは東洋と西洋の強力かつ重要なかけ橋となっています。このことは、日本における奨学金プログラムの大成功を見れば、よく分かります。本年度、1200件の国際親善奨学金の3分の1は、日本の地区の寄付によるものです。日本のロータリアン数が、世界のロータリアン数の11%ということを考えますと、これは驚くべき数字です。この研究会中、私たちは、自らに一つの重要なことを問わなければなりません。日本のロー



タリーの未来はどうなるかという問いです。ロータリーに、引き続き日本の伝統が、にじみ出ると思います。また、ロータリーは、日本のロータリアンにとって国際理解の手段であり続けるでしょう

ロータリーは未来の日本において今まで以上に強力な人道的役割を引き受けるでしょう。日本のロータリアンが、援助を求める世界中の人々を援助するプロジェクトを開発するために懸命に働く姿が私には予測できます。

ポリオ・プラス・パートナーシップへの皆様の素晴らしい献身振り、ポリオ・ウィルスの撲滅は新世代を準備することによって、未来を築



く私たちの計画に不可欠な要素です。

ローターアクトとインターアクトの新世代が奉仕の習慣を身に付けるよう皆様が援助することによって、ロータリーの理想は次の世紀に確実に受け継がれていきます。

私は、青少年が自分の意見を聞いてもらえるフォーラムを必要としていると確信しましたので、各ロータリークラブに、地域社会挙げて、新世代のための会議を開くよう要請しました。この会議の目的は、地域指導者と青少年との世代間の対話の道を開くことです。私は新世代の重要性を強調するために、世界21ヶ所を、表敬訪問し、ロータリアンが新世代を準備することによって、どのように未来を築いているかを地域社会に示しています。私は、出会った青少年の熱意、未来を築くためにロータリアンと協力しようとする意欲に心打たれました。

もう一つ重要な行事にも参加をお願いしたいと思います。それは1月27日のポール・ハリス没後50周年行事です。日本の皆様は、他のどの世界の国々よりロータリーの歴史を敬愛する創始者の追悼に献身的です。

結びに、次のことを考えていただきたいと思います。私たちは、それぞれ人生において二つの道を選べます。あるがままの人生に満足する道と歴史に残るような何かをする道の二つです。未来の第1ページは、未だ書かれていません。この会場におられる方々は、その第1ページを書くことができます。直ちにペンをとり、行動力と先見の眼で、次の章を構成し始めましょう。皆様が、私と同じように、運命は待つものではなく、つかむものと思うなら、もう待っているわけにはいきません。私たちの運命を選ぶのは今です。今、この決定的な選択をしなければなりません。そして「築け未来を－行動力と先見の眼で」に着手しなければなりません。」

第3セッション。「21世紀を踏まえこのNew Generationへの取り組み」では、板橋新世代育成実行グループコーディネーターをモデレーターとして、パネリスト山道PG、平岡PG、山田PGより、それぞれ所見が発表されました。本年度

のメインテーマですので、参加者の関心を集めました。

第4セッション。「未来を築くためのロータリー財団のビジョンと行動」では、蔵並ロータリー財団レプレゼンタティブをモデレーターとして、田中PG、紫野PG、玉村PG、平岡PGより発表があり、次いで第1回ロータリー財団奨学生清水長一氏（現東京RC会員）より、当時を回顧した発表がありました。

3) ロータリー研究会第2日

第5セッション。「未来を築くための会員増強と新会員教育」は、小谷PGをモデレーターとして、石原PG、岡島PG、富永PG、丸山PGが、パネリストとして、それぞれ、その必要性を強調されました。

第6セッション。「ディストリクト、リーダーシップ・プラン」については、指導力養成検討委員会委員中島PGより、経過報告と、今後の課題について説明があり、慎重な対応の必要性が述べられました。

第7セッション。「平和な都市づくり会議」は、今井RI理事より報告されました。

閉会式での、ジアイRI会長挨拶の要旨は次の通りです。

「私は去る国際協議会の席上、今年のガバナーの皆様をガバナー・プラスと呼ぶと発表しました。その名称は、私の今年度のガバナーに対する大きな期待を含めたものであります。全く私の期待通りでありました。1996-97年度のガバナーの皆様は、そのプラスの意味するところを立派に遂行され、それ以上のことを達成するために、奮闘しておられます。

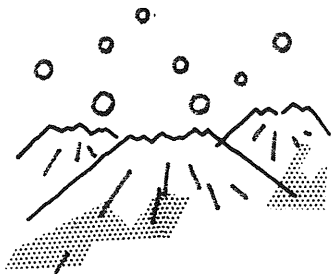
この研究会は、私たちの先達、パストガバナーの皆様の博識と垂範により、その意義が一層高められました。ロータリーの過去の業績をたたえる今年度の行事に鑑み、ここに、パストガバナーの皆様の多大なる業績に対し、賞賛の意を表するものであります。長年に及ぶ歴代の先達が築かれた土台があればこそ、未来を築くことができるのであります。

皆さん、この研究会には、ロータリーの過去、

現在、未来が揃っております。私たちのロータリーという組織を、21世紀を目指して、どのように前進させるかを協議するのに、これ以上に優れたグループはございません。

ポール・ハリスという一人の人の行動とビジョンが、数々の有意義な事業を行うと同時に、この世界から完全にポリオを根絶させるという夢を実現させる組織に導いたという事実を考えて下さい。今日では、その一人の人のアイディアとその実践のお蔭で、120万の会員が、全人類のために力を合わせて奉仕に邁進しているのです。この事実を考えてみて下さい。皆様も、行動力とビジョンさえあれば、一人の人間が相違を作り出すことができると思われるに相違ありません。従って、皆様の行動力と皆様の先見の眼を活用することさえできれば、ロータリーが相違を作り出すことはできるのであります。要するに、皆様次第なのであります。皆様の心構え、皆様の献身、そして、皆様の行動力と先見の眼が、ロータリーの未来の位置を決定するのであります。その未来の位置が目指すに足るものであるように全力を尽くして下さいをお願いするものであります。ロータリーの過去、現在、未来のリーダーであられる皆様が、世界中のロータリアンと力を合わせて、築け未来を一行動力と先見の眼で、を目指してご活躍されますことを念願して閉会の言葉といたします。」

以上ご報告いたしましたように、1996-97年度ロータリー研究会は、実り多き研究会でありまして、残された下半期を「築け未来を一行動力と先見の眼で」のもとに行動することを、互いに確認し合って解散いたしました。



1996～'97年度 ロータリー財団セミナー

地区ロータリー財団委員会

委員長 矢島 茂

去る11月28日正午、神戸ポートピアホテルにてアジア第1～第4ゾーンの34地区ガバナー、ガバナーノミニー、次期地区財団委員長が一同に会し、田中作次地域コーディネーター司会により財団セミナーが開催されました。

ご多忙のなかジアIRI会長、今井鎮雄RI理事のご挨拶があり、セミナーは1991～92RI会長のアジェンダ・K・サバーRI財団管理委員長が終始熱意を持って指導されました。

サバー委員長は、当年度7月～10月の年次寄付額が地域34地区目標に対して達成率が25%であることに強い懸念を表明されました。日本経済低迷とはいえ、RIの日本に対する期待が大きく、年次寄付(3年後に使い切るもの)目標100%達成の確約を要請されました。

セミナーの内容は次のとおりです。

①ロータリー財団の使命

RI財団管理委員長 R.K.サバー

②ロータリー財団の現況

RI財団管理委員 蔵並定男

③人道的プログラム

人道的プログラムマネージャー M.ダイヤモンド

④財団のプログラム

地域コーディネーター 田中作次

⑤ポリオ・プラスとジャパンプログラム

平岡正己

⑥恒久基金寄付勧奨

田中作次

⑦奨学金制度50周年記念座談会「学友2名と語る」

司会 平岡正己

⑧寄付増進事例発表

2650地区増進委員長 山田将貴

最後に質疑応答を行い蔵並財団リプレゼンタティブのご講評により17時45分閉会しました。

次期ガバナーノミニーに内藤氏が決まりました



ないとう あきと
内藤 明人
(本名 内藤 進)
大正15年 3月29日生
名古屋西ロータリークラブ
シニアアクチブ
(ガス器具製造)
リンナイ株式会社
代表取締役社長

＜最終学歴＞

昭和23年 東京大学(工学部)卒業

＜職歴＞

昭和23年 株式会社 林内製作所入社

昭和41年 同社 取締役社長に就任

(昭和46年 社名をリンナイ株式会社に變更)

昭和47年～昭和56年 社団法人日本ガス石油
機器工業会 会長

昭和49年～昭和52年 中部経済同友会 代表幹事

昭和59年～平成7年 名古屋中小企業投資育成株式会社
代表取締役社長

＜団体職歴＞(現職)

昭和37年 名古屋青年会議所 理事長

昭和38年 日本青年会議所 副会頭

昭和62年 名古屋日豪ニュージールランド協会会長に就任

平成2年 名古屋駐在ニュージールランド国名誉領事に就任

平成6年 社団法人中部産業連盟 会長に就任

平成6年 日本貿易振興会運営審議会委員に就任

平成7年 名古屋証券取引所 理事に就任

昭和56年 名古屋商工会議所副会頭に就任

～平成8年 (昨年12月に退任)

＜受賞＞

昭和46年 科学技術庁長官賞

昭和50年 紫綬褒章

昭和61年 藍綬褒章

平成8年 勲三等旭日中綬章

＜ロータリー歴＞

昭和38年 名古屋西ロータリークラブ入会

昭和42年 幹事

昭和57年 会長(理事)

合同新世代会議「21世紀にける名古屋の夢」

名古屋RC青少年活動委員会
委員長 坂本 康信

11月30日(出)、名古屋YMCAにおいて名古屋・中・大須・栄4ロータリークラブ共催で新世代会議を開催。名古屋地域の青少年団体(名古屋インターアクトクラブ、YMCA、YWCA、ボーイスカウト、ガールスカウト)、教育(愛知淑徳、名古屋大谷、県立新川3高校一教諭)、福祉(名古屋キリスト教社会館、名古屋身体障害者福祉連合会)、国際(ロータリー交換学生一外国人、日本人一、アジア保健研修センター、名古屋国際センター)等で活躍している学生、社会人の男女28名と4ロータリークラブ会長、幹事、他34名が参加。

会議に先立ちコラムニストのジョン・ギャスライト氏の教育、特にいじめのカナダでの解決例、環境などについて感動的な講演後、6グループに分かれ「21世紀にける名古屋の夢」のテーマにもとづいて、

テーブルミーティングを実施し、報告発表では、「名古屋市は、デザイン都市もいいけど、地下鉄を障害者でも利用しやすくするなど、もっとやることがあるのでは」など若者の視点からの提言が出された。

最後に来賓の国際ロータリー第2760地区ガバナー代理 内田栄一地区幹事、名古屋市社会教育部長 杉山七生氏、名古屋青年会議所理事長 水野新平氏による心暖まる、しかも青少年を勇気づける講評をいただき、更に名古屋ロータリークラブ小川進会長の感謝の言葉で実りある新世代会議一青少年とロータリアン対話集会を終了致すことができた。





特別寄付報告書（1996年11月分）

財団法人 ロータリー米山記念奨学会

理事長 末 永 直 行

2760地区

クラブ名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件数
あ ま	0	300,000	0	300,000	1 件
東 知 多	0	150,000	0	150,000	1 件
一 宮	0	120,000	0	120,000	4 件
刈 谷	0	900,000	0	900,000	3 件
名古屋千種	0	900,000	0	900,000	27件
名 古 屋 北	354,000	100,000	0	454,000	2 件
名古屋名北	140,000	300,000	0	440,000	2 件
名古屋名東	0	50,000	350,000	400,000	2 件
名 古 屋 港	0	150,000	0	150,000	1 件
名古屋守山	0	300,000	350,000	650,000	2 件
名 古 屋 中	161,000	0	0	161,000	1 件
名古屋昭和	0	1,280,000	50,000	1,330,000	27件
西 春 日 井	0	300,000	0	300,000	1 件
西 尾	0	60,000	0	60,000	2 件
西尾KIRARA	0	180,000	150,000	330,000	9 件
岡 崎	0	250,000	0	250,000	16件
岡 崎 東	8,986	750,000	0	758,986	17件
岡崎城南	0	50,000	0	50,000	1 件
岡 崎 南	0	90,000	0	90,000	6 件
尾 張 旭	0	1,230,000	0	1,230,000	26件
瀬 戸 北	0	300,000	0	300,000	1 件
豊橋ゴールデン	0	1,970,000	0	1,970,000	47件
豊 橋 北	0	420,000	0	420,000	11件
豊 橋 南	0	60,000	0	60,000	2 件
豊 田 西	0	150,000	0	150,000	1 件
計	663,986	10,360,000	900,000	11,923,986	

第2760地区ニュース・その他

“国際ロータリー第2760地区

現米山奨学生と米山奨学生OB

との懇談懇親会開催、

地区米山記念奨学会委員会

委員長 小 田 公 平

日 時 平成8年12月7日(土) 16:00~19:00

場 所 メルパルク5F

出席者 RI第2760地区ガバナー

松本 宏

(財)ロータリー米山記念奨学会

理事 田中 徹

地区米山記念奨学会委員会6名

ガバナー事務局……………2名

現米山奨学生……………34名

カウンセラー……………25名

米山奨学生OB ……………17名

計 86名

本年度の地区米山記念奨学会委員会の活動の一つとして、米山奨学生のO.B.の方々の集まりである、愛知学友会の設立があり、約1ヶ年の準備を得て、会則、名簿等の整備も一応の目処が立ったので、恒例の奨学生の年末見学会と懇親会を上記表題の様に米山奨学生O.B.との懇談・懇親会の場を作り、愛知学友会設立の気運を盛り上げることとした。結果は90名近いロータリアン、米山奨学生、奨学生O.B.の参加を得て盛会裡に開催、奨学生O.B.の紹介、参加者の思い出話等々、現奨学生との交流もスムーズに大変話しもはずみ通常の倍以上の懇親を深めることが出来た。又参加したカウンセラーの皆様方も大変意義のある活動と米山奨学会の活動について認識を新たにした。最後に全員で学友会が無事発足する事を祈りつつ楽しい一刻を持つことが出来午後7時散会した。

第1回地区環境保全

委員会全体会開催

地区環境保全(仮)委員会

委員長 石 川 顕 次



日 時 平成8年11月20日(水)

午後0時~午後2時50分

場 所 名鉄グランドホテル

スピーカー 前豊橋技術科学大学学長

佐々木慎一先生(豊橋RC会員)

テ ー マ 「技術開発

ーここまで進んでいいのか？」

出 席 者 地区委員 委員長以下6名

クラブ委員長又は代理者 69名

以上75名出席

スピーチの要旨

近代西欧文明の始まりから今日まで僅か200年の間に人が消費した資源とエネルギーはその以前に全人類が使ってきた量をはるかに超えている。資源もエネルギーもすべて自然が提供して呉れたもので、人間は自力では何も創造していない。今後、科学者、技術者はこのことを心にとめて、使命感をもって技術開発に当り、できあがった技術には重大な責任を持たなければならない。

・スピーチの後、質疑応答、各クラブの情報の交換等があり、有意義な会でありました。

第2760地区ニュース・その他

地区ローターアクトクラブの 部門別協議会を終えて

地区ローターアクト(小)委員会
委員長 石川 敬



第7回R・A・C部門別協議会が「HI / HOW ARE YOU, ACTORS?」をテーマに、ここ愛知のワイキキといわれる景勝の地、田原にて、地元田原ローターアクトCをホストに、地区内10クラブ、136名、アクト提唱R・C、田原及び田原パシフィックロータリーのご協力のもと、地区ガバナーを始め地区ローターアクト委員、地区内18クラブより110余名のロータリアンのご参加を得て盛大に開催されました。

今年度より新事業として、「国内研修」が企画され、従前に増してアクト活動の輪が拡大し広範囲に亘る人的交流が強化される事と相成りました。R・I会長の方針に添い、当地区のアクト活動も今年度は松本ガバナーの「次世代の育成強化」の方針の基に、地区及び各クラブ毎の活動内容の充実を求めて強力に展開されています。青年達に、他人への奉仕という精神的かつ建設的感化を与え、地域社会の指導者となるための青年の指導啓発に寄与することは、我々ロータリアンの責任であると言えます。アクトの地区テーマ「育てようアクトの芽・育もうアクトの輪」はこのことを以って実践されたと、言えると思います。青年が少しでも指導力や専門知識

を磨き、より多くの友人をつくり、一緒に活動し、地域社会に役立っていくことは、まさにロータリー活動の理想といえるのではないのでしょうか。

今一度ここで、ローターアクトの目的を再確認しておきたいと存じます。

R・Iがめざすその目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだによりよい信頼関係を推進するための機会を提供することにある。と論じています。

第7回部門別協議会を終えて

国際ロータリー第2760地区
ローターアクト地区代表
神谷 徳昭



朝夕もだいぶ冷え込むようになった11月、愛知県渥美郡渥美町の渥美町農村環境改善センターにおきまして第7回部門別協議会が執り行われました。テーマを『HI / HOW ARE YOU, ACTORS?』と題し、アクトの活動単位である委員会別に分かれてそれぞれの委員会が開催する例会について話し合い、他クラブの例会を参考にし、自クラブの例会をより良い物にしていくといった主旨のもと協議会が開催されました。今年度は地区として、またアクトとしてさまざまな物に挑み、考え、正すと言ったような変革



第2760地区ニュース・その他

の年度でありたいと構想し活動して参りました。その上半期の総決算となるのが、この部門別協議会であります。

私自身地区代表として、一人のアクターとしてアクトを考え奉仕を見直す良い機会であったと思っております。自分の可能性を信じ柔軟な姿勢で社会を見つめアクトを、そして地域社会を常にリードして行くのが私の仕事であり責務であると共にそのようなアクターを一人でも増やす、いえアクトの自然な形として定義づけられるような物にして行くと。

この様な思いを胸に抱き第7回部門別協議会が終わったわけではありますが、アクター一人一人が今回の協議会での思いを更なる問題点として次回の部門別協議会に持ち寄ることを期待しております。何故ならば私達は、答えを探しに來たのではなく問題を見つけに來たのですから。

最後になりますが、地区副幹事の杉浦三郎様をはじめロータリアンの皆様には、お忙しい中この部門別協議会に多数のご参加を賜り厚くお礼申し上げます。今後ともご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

ロータリー財団

おめでとうございます

ご協力を感謝申し上げます。

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー 11月分

氏 名	所属R.C.
浅井 久 一 郎	(名古屋港)
秋 田 茂	(名古屋和合)
丹 羽 良 治	(岡 崎)
野 村 重 彦	(刈 谷)
船 橋 重 喜	(小 牧)
浦 野 三 男	(名古屋北)
尾 崎 琢 磨	(名古屋北)
岩 月 忠 和	(名古屋北)

ベネファクター 11月分

氏 名	所属R.C.
伴 實	(豊 橋 北)
松 原 幹 彦	(一 宮 北)
守 野 暢 洋	(西 春 日 井)
遠 藤 友 彦	(名古屋名北)
小 島 英 春	(名古屋名北)
山 本 光 夫	(名古屋北)

新ポール・ハリス・フェロー 11月分

(11月20日迄の分)

氏 名	所属R.C.
太 田 寛 司	(豊 田 東)
鈴 木 英 治	(豊 田 東)
木 村 和 義	(豊 田 東)
太 田 敬 一	(豊 田 東)
加 藤 芳 伸	(豊 田 東)
川 崎 省 治	(豊 田 東)
近 藤 厚	(豊 田 東)
三 宅 寛	(豊 田 東)
北 村 肇	(稲 沢)
藤 田 節 男	(春 日 井)
置 田 与 志 男	(春 日 井)
梅 田 英 夫	(春 日 井)
平 野 哲 夫	(名古屋港)
伊 藤 恭 弘	(岡 崎 南)
深 澤 邦	(名古屋西南)
岩 田 剛 尚	(名古屋西南)
松 本 正 継	(名古屋西南)
渡 邊 徹 雄	(名古屋西南)
安 藤 克 己	(豊 山 城 北)
山 田 敏	(豊 山 城 北)
田 中 勝 美	(稲 沢)
稲 垣 卓 男	(稲 沢)

計 報

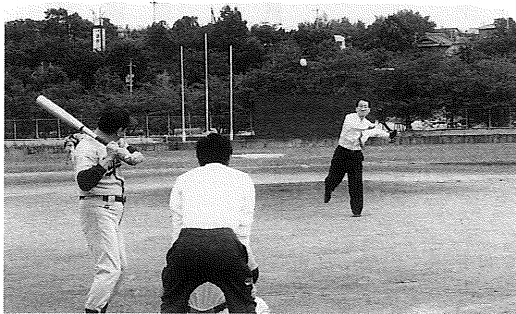
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

山田芳雄様 (豊橋R.C.)	11月26日
長尾真護様 (春日井R.C.)	12月12日
磯部満男様 (東海R.C.)	12月15日
久保田浩一様 (名古屋西南R.C.)	12月19日

第2760地区ニュース・その他

国際ロータリー第2760地区

野球大会開催



松本宏ガバナーによる始球式。
ド真ん中のストライクでした。

1996～97年度の第2760地区野球大会が、例年通り、豊田三好RCが主管クラブとなり、9月から10月にかけて三好町の三好球場で行われ、今年度は、別記の通り豊田RCチームが優勝を飾りました。

9月5日の開会式には、来賓として地元の塚

本三千雄三好町長、松本宏ガバナー、森順次西三河第一分区代理に出席を仰ぎ、ご挨拶を頂きました。

10月5日の決勝戦は、昨年まで3年連続優勝の豊田東RCチームが選手の都合で棄権となり、今年チームを結成して初参加の豊田RCチームの不戦勝による優勝が決まりました。

今年も、各試合、ロータリーの友情と和気にあふれ、一所懸命ななかにも楽しい戦いのひとときを過ごしました。次年度も、更に多くのクラブがチームを結成して参加され、大会を盛り上げて下さることを期待しています。

■対戦成績	(勝者)	スコア	(敗者)
(一回戦)	瀬戸北	11-4	豊田三好
	豊田東	8-4	豊山城北
	豊田西	6-3	名古屋瑞穂
	豊田	13-5	名古屋中
(準決勝)	豊田東	7-4	瀬戸北
	豊田	7-3	豊田西
(決勝)	豊田	不戦勝	豊田東

文庫通信

(第112号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

半年間に登録された資料の中から その1

◎「ロータリーへの道 私達のポール・ハリス研究」西宮夙川R.C. 1996年 58頁

[申込先 西宮夙川R.C. TEL(0798)48-4900]

◎「大夢翁 土屋元作」日出R.C.編 1996年 200頁

[申込先 藤川整骨院気付 TEL(0977)72-0539]

◎「ふりかえれば未来が見える一芝染太郎伝」

芝染太郎調査研究委員会 1996年 139頁

[申込先 鹿島臨海R.C. TEL(0299)92-5111]

◎「ロータリーあれこれ 復刻版」笹部 誠 1996年 174頁 [申込先 川崎R.C. TEL(044)233-8903]

◎「藍壺」米山梅吉記念館 1995年～

[申込先 米山梅吉記念館 TEL(0559)63-0515]

◎「職業奉仕の意味は少しも捕らえ難くはないー職業奉仕シンポジウムから」1996年 32頁(進行：佐藤千壽 パネラー：近藤正夫・阿部士良・鈴木憲輔 司会：原 英亮)

[申込先 八千代中央病院・松戸 TEL(0474)83-1555]

◎「企業行動のあり方」佐藤千壽 1996年 69頁

[申込先 D.2770 TEL(048)834-0123]

◎「社会的責任の中心としての職業奉仕」鈴木憲輔 1993年 9頁

[申込先 八千代中央病院・松戸 TEL(0474)83-1555]

◎「職業奉仕における『個人奉仕』の意義」鈴木憲輔 1995年 10頁

[申込先 八千代中央病院・松戸 TEL(0474)83-1555]

◎「私の職業奉仕観」大日方弘明 1996年 74頁

[申込先 大日方弘明 TEL(075)861-1679]

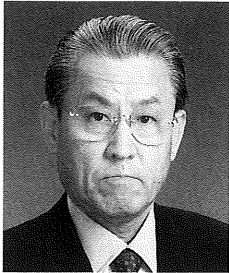
ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

1997～'98年度 分区代理ご紹介

尾張第一分区



河合 博文
昭和4年12月8日生
東海RC
シニア・アクティブ(機械工具)
河合産業株式会社 会長
光洋研磨工業株式会社 社長
1986. 10 東海RC入会
1995～'96 会長
1996～'97 ロータリー情報
副委員長

名古屋第一分区



堀田 達二
昭和5年9月2日生
名古屋中RC
シニア・アクティブ(空調配管工事)
ホツタ設備工業(株) 代表取締役社長
1969. 10 名古屋中RC入会
(チャーターメンバー)
1971～'72 幹事
1974～'75 会長
1988～'91 日本ポリオプラス委員
会委員(地区代表)
1990～'92 地区R財団委員長

名古屋第二分区



山田 静夫
大正13年8月25日生
名古屋守山RC
シニア・アクティブ(薬局)
(株)新々薬工 代表取締役
1971. 5 名古屋守山RC入会
1981～'82 幹事
1994～'95 会長

東尾張分区



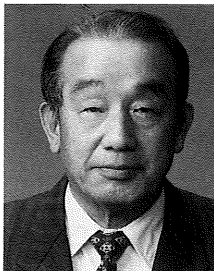
早川 八郎
昭和11年1月1日生
春日井RC
シニア・アクティブ(写真)
国際航空写真(株) 取締役社長
1969. 5 春日井RC入会
(チャーターメンバー)
1974～'75 幹事
1984～'85 会長

西尾張分区



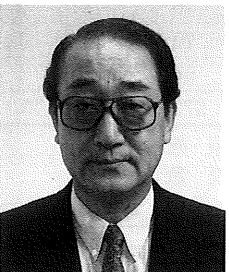
後藤 芳夫
昭和9年3月20日生
尾西RC
シニア・アクティブ
(ウール意匠織物製造)
一宮毛織(株) 社長
1975. 7 尾西RC入会
1979～'80 幹事
1984～'85 会長

東三河分区



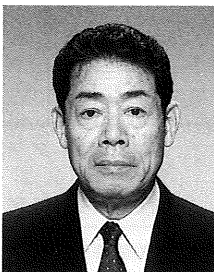
鈴木 省三
昭和6年6月23日生
蒲郡RC
シニア・アクティブ(繊維品販売)
鈴彦商事(株) 社長
1990. 12 蒲郡RC入会
1976～'77 幹事
1980～'81 幹事(再)
1994～'95 副会長

西三河第一分区



有馬 惟夫
昭和9年4月14日生
岡崎城南RC
アクティブ(日用品卸売)
三洋ホームズ(株) 代表取締役
1989. 3 岡崎城南RC入会
(チャーターメンバー)
1989.3～6 会長
1989～'90 会長
1994. 創立5周年記念事業
実行委員長

西三河第二分区



杉浦 重行
昭和5年2月18日生
高浜RC
シニア・アクティブ(建築設計)
(株)杉浦設計
1972. 1 高浜RC入会
1974～'75 幹事
1980～'81 会長

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'96年 7月1日	当 月	増 減					'96年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	99.33	3	47	50	3	西 尾 張 分 区	あ ま	99.68	3	104	104	
	半 田	100.00	4	74	74			尾 西	94.77	3	63	64	1
	半 田 南	99.62	4	68	68			一 宮	98.92	4	92	95	3
	東 知 多	99.59	4	62	66	4		一 宮 北	99.08	5	85	87	2
	常 滑	99.41	5	70	71	1		稲 沢	98.80	4	65	64	-1
	東 海	96.82	4	61	63	2		西 春 日 井	100.00	4	61	64	3
	計	99.13	—	382	392	10		尾 張 中 央	100.00	4	50	52	2
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	96.26	4	222	236	14	東 三 河 分 区	津 島	100.00	5	89	91	2
	名 古 屋 南	99.12	4	121	126	5		一 宮 中 央	94.86	4	72	75	3
	名 古 屋 港	100.00	5	130	133	3		計	98.46	—	681	696	15
	名古屋瑞穂	100.00	4	104	103	-1		渥 美	91.85	4	63	66	3
	名 古 屋 中	100.00	3	160	162	2		蒲 郡	95.57	5	78	77	-1
	名 古 屋 西	97.92	4	143	151	8		奥 三 河	93.75	4	38	41	3
	名古屋大須	98.69	4	96	98	2		新 城	94.20	5	68	69	1
	名古屋名南	99.71	4	84	87	3		田 原	100.00	5	73	73	
	名古屋名駅	97.20	4	102	109	7		豊 橋	98.75	4	132	133	1
	名古屋東南	98.15	4	84	89	5		豊橋ゴールデン	100.00	5	84	83	-1
	名 古 屋 栄	98.40	3	83	84	1		豊 橋 北	99.50	4	116	117	1
	名古屋西南	100.00	4	52	54	2		豊 橋 南	98.92	3	68	72	4
名 古 屋 第 二 分 区	計	98.79	—	1,381	1,432	51	西 三 河 第 一 分 区	豊 橋 東	100.00	4	32	32	
	名古屋千種	98.55	4	68	69	1		豊 川	94.29	4	82	82	
	名 古 屋 東	98.56	3	113	117	4		豊 川 宝 飯	88.67	4	68	69	1
	名 古 屋 北	99.43	5	115	119	4		田原パシフィック	98.03	4	76	76	
	名古屋名北	98.52	4	67	68	1		計	96.43	—	978	990	12
	名古屋名東	99.12	4	84	85	1		岡 崎	100.00	4	117	120	3
	名古屋守山	98.22	4	84	84			岡 崎 東	98.76	4	83	93	10
	名古屋昭和	98.67	3	72	73	1		岡 崎 城 南	100.00	4	76	77	1
	名古屋和合	100.00	4	110	110			岡 崎 南	99.03	5	113	113	
	名 古 屋 錦	97.35	4	60	66	6		豊 田	99.08	4	98	101	3
	名古屋東山	96.80	4	—	47	47		豊 田 東	99.42	4	91	95	4
	計	98.52	—	773	838	65		豊 田 西	100.00	3	105	105	
東 尾 張 分 区	犬 山	100.00	4	78	84	6	西 三 河 第 二 分 区	豊 田 三 好	98.96	3	32	34	2
	岩 倉	93.90	4	41	41			計	99.41	—	715	738	23
	春 日 井	100.00	5	83	85	2		安 城	98.20	5	91	92	1
	小 牧	99.29	4	68	72	4		碧 南	99.11	4	83	85	2
	江 南	99.57	4	73	76	3		一 色	100.00	4	52	52	
	名古屋空港	97.51	3	65	68	3		刈 谷	100.00	3	92	91	-1
	尾 張 旭	99.14	5	70	70			知 立	100.00	4	54	58	4
	瀬 戸	99.07	4	78	81	3		西 尾	98.20	4	76	78	2
	瀬 戸 北	100.00	4	70	70			西尾 KIRARA	99.13	5	70	71	1
	豊 山 城 北	98.29	4	60	60			高 浜	99.04	4	54	55	1
	計	98.68	—	686	707	21		計	99.21	—	572	582	10
地域内クラブ数				76RC	'96. 7. 1 会員数		6,168名	増 加 会 員 数		212名			
					当 月 末 会 員 数		6,375名	減 少 会 員 数		5名			
					当 月 平 均 出 席 率		98.85%	差 引 純 増 会 員 数		207名			